

令和4年8月定例東温市教育委員会会議録

開会の日時及び場所 令和4年8月23日(火)午前 9時 00分
東温市庁舎 4階 405会議室

議事に出席した委員	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	水岡 明美
	教育委員	清家 隆夫
	教育委員	大西 正志

議事に出席した職員	教育長	八木 良
	事務局長	渡部 啓二
	学校教育課長	橋本 武
	保育幼稚園課長	近藤 和明
	生涯学習課長	河端 徳明
	給食センター長	近藤 照雄
	学校教育課長補佐	渡部 昌弘
	学校教育指導主事	東山 淳志

傍聴人 なし

1 開会宣言(9:00)

渡部補佐 (開会を宣す。)

2 教育長あいさつ(9:00)

八木教育長 現在傍聴者はおりませんので、この後傍聴希望者が出たら入っていただくということよろしいでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える。)

八木教育長 皆さんおはようございます。本日も定例教育委員会、よろしくお願ひいたします。

夏休みも残り少なくなりましたが、今のところ大きな事件や事故等の報告はございません。しかしながら、幼児や児童生徒の新型コロナウイルス感染の報告は、夏休みだけで200名近くにも上っています。市内でも一日の感染者が100名を超える日があるなど、感染が収まる気配が見

えない日が続いているのが気がかりではあります。

一方私たちも少しずつこの状況に対応できるようになってきていることも事実です。昨年、一昨年と中止してきた各種行事も、感染対策を強化しながら、人数制限を行ったり、オンラインを併用するなど内容を工夫したりして、開催してきております。保育所、幼稚園、児童クラブなどの複数の施設で短い期間、学級閉鎖を実施したということはありませんでしたが、子どもたちは、3年ぶりに行動制限のない夏を、元気に過ごしてくれていると思っています。

学校行事関係では、重信中学校の男子ソフトボール部と剣道個人の片上君、川内中学校のバドミントン個人野中君が全国大会出場のため北海道と青森県に出向きました。バドミントンの野中君は、残念ながら2回戦で敗退しましたが、剣道の片上君は見事3位入賞しました。また、ソフトボール部は、本日から試合が始まります。彼らの健闘を祈りたいと思います。

本日の教育委員会では、令和3年度対象の教育委員会点検・評価について、ご報告させていただきます。これについて委員の皆様にご協議いただき、これからの教育行政の推進に役立てたいと考えております。協議後、承認いただきましたら、9月議会において報告させていただく予定にしております。ご協議の程、よろしく願いいたします。

また、今年の4月に実施しました全国学力学習状況調査についても、本市の状況を報告させていただきます。昨年に引き続き、小中学校共に、全教科において平均を上回っています。また、質問紙調査でも、多くの項目において好ましい傾向を示しています。

県教委は8月末に結果を公表する予定としていますので、近く報道されると思いますが、この全国学力・学習状況調査については、結果のみに一喜一憂するのではなく、東温市の子どもたちの長所と課題を明確にし、その長所を一層伸ばすとともに、課題を解決し、より一層の確かな学力の定着・向上を図っていきたいと考えています。

結びに当たりまして、来週には、二学期が始まります。教育委員の皆様方におかれましては、東温市教育の推進において忌憚のない幅広いご意見をお出しいただきますよう、お願いいたしまして、簡単ではありますが、開会のあいさつといたします。

本日は、よろしく願いいたします。

3 前回会議録の承認

八木教育長 前回会議録の承認ですが、承認いただけますでしょうか。
委員全員 (意義ない旨伝える)

4 各課報告

橋本課長 (当日資料1、2ページに基づき、学校教育課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤課長 (当日資料2、3ページに基づき、保育幼稚園課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

河端課長 (当日資料3、4、5ページに基づき、生涯学習課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

近藤所長 (当日資料5、6ページに基づき、学校給食センターに関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

八木教育長 各課からの報告についてご意見ご質問等ございませんでしょうか。

水岡委員 7月31日のふれあいスクールランチコンテストについて、出席者が1年生から6年生までいましたが、どの料理もおいしくて、参加者はとても上手で、家でいつも練習しているんだな。と思いました。優勝した方の料理が給食に出るということで、私もすごく楽しみにしております。もう一点、職場体験について、中学校でこのような体験ができるということはすごく良いことなので今後も続けてほしいですし、受け入れる側も大変だとは思いますが、もっと広がったらいいなと感じました。

近藤所長 スクールランチコンテストの件についてはお褒め頂きありがとうございます。食育の一環としても非常に有用な事業だと思っておりますので、来年度以降も開催したいと考えております。職場体験については、昨日と本日実施しておりますが、本来4日間のところをコロナの感染状況の拡大で中学校の担当の先生とお話しして期間を短縮しました。なお、本日新作メニューの試作にも中学生調理室に入らせておりますが、調理員の皆さんと一緒に試作を食べるという行為は感染対策上問題があるので、学校にタッパーに詰めて持ち帰らせて教室で静かに味わってもらうという対応を取るのです、非常に心苦しいところはあります。ただ、色んな工夫をしながらこういった職場体験も続けていきたいと考えております。

大西委員 8月1日に行いました東温市通学路安全連絡協議会ですが、スマートインターチェンジができる関係の工事車両が市内に増えてきている気がします。次の協議会の時で結構ですので、それに対する交通事故の防止

策など、呼びかけをして頂いたらと思います。

橋本課長 先日行いました第1回の協議会では、それぞれの学校から持ち寄った危険な箇所を情報共有し、年明けに行われる予定の第2回の協議会で安全対策の方法などを各道路管理者等が持ち寄って、そこで改めて協議、確認する予定です。その際にスマートインターの関係の工事については、安全強化のための方策、注意喚起など、さらに徹底してまいりたいと思います。

5 議事

議案第48号 令和4年度(令和3年度対象)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

渡部局長 (資料に基づき、議案第48号、令和4年度(令和3年度対象)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について説明する。)

八木教育長 最初に全体に関わるようなご質問をいただいてから、各委員さん順番にそれぞれの項目に関する質問等も交えてご意見いただけたらと思います。まず全体で確認しておいたらいような質問等ございませんか。

大西委員 社会総がかりで取り組む教育の推進の学識経験者意見で、学校は常に難局を迎えやすい現状です。とあります。私も非常に厳しい環境だと共感を覚えております。学校運営協議会が共に責任を負うことを、校内外にアピールすることで、学校経営が随分やりやすくなった。というご意見が述べられておりますが、その通りで、どうしても学校だけとか親御さんだけでは解決できないような社会環境になっております。是非学校運営協議会をフルに活用していただいて子どもたちの育成に力を入れていただくとありがたいと感じました。いじめ・不登校等への組織的対応での学識経験者のご意見ですが、いじめを絶対に許さない、見逃さないという共通認識がより高まり、組織としての共通実践ができるよう、各校への適切な働き掛けをお願いします。ということで、解決するという事はなかなか難しいですが、常に働きかけをすることがいじめを減らし、不登校の防止にも役に立つのではないかと思います。

橋本課長 学校運営協議会について、東温市が県内でも比較的早めに学校運営協議会を取り入れました。中予の中でもまだ導入していない教育委員会もあるようで、その意味では早目に組み合わせて良かったと思っております。学校だけではどうしても解決できない問題で、地域と共に解決しなければいけない問題等がこの2、3年で特に急に増えたように感じておりますので、引き続き学校運営協議会を活用し、学校運営に取り組みたいと

考えております。いじめに関して、いじめを0にすることは無理だと思っております。その中でも早期発見早期解決が大切だと思っておりますので、いじめ防止等の基本方針に基づき、引き続き取り組んでまいりたいと思います。

清家委員 児童クラブの支援員さんの数ですが、南吉井のすみれ組とたんぼぼ組では、たんぼぼ組の方が新しく大勢の子が行っていると思うのですが、支援員さんの数がさほど変わらないのは、施設の管理面で充実しているからか、それとも今後増やす予定があるのかということをお聞きしたいと思います。

近藤課長 南吉井小学校においては2箇所、体育館のすみれ組とよしいの子ども館の北側にあるたんぼぼ組で実施しております。人数については働き方のご希望によって、週1、2回の人、毎日の人、と、単純に比較にはなっていない状況で、クラブとしてはこの人数でうまい具合に皆さんのシフトを組んで希望通りに勤務ができる形です。特段人数が足りていないというのは聞いていないのでこの状況でいけるものと思っております。

清家委員 感想ですが、英語の先生が小学校も教科担任として必要なのではないかと思ったくらいであるにも関わらず、支援員の方の協力も得ながら小学校で活発に意欲的に子どもたちが勉強をしているので、すごいことだと思いました。GIGA スクール構想ですが、学校訪問の時もタブレットをすごく使われているのでびっくりしたのですが、まだまだということも言われていますので、このことについて先生たち自身がどれくらいストレスを感じられているのか。先生の思いを知ることも大事かと思いました。緑の少年隊事業について、将来的に消えていくという心配があるのですが、東温ならではの取組ですので、今後他の小学校の子どもたちを募集しながら活動は持続して欲しいと思いました。学校給食について、すごい取組をされていると思いました。食育ということを念頭において色々な分野、地産地消の面も考えられて、工夫をされて取り組まれている。職場体験の受入れもやられて、大変な活動をしておられると思いました。読書活動について、評価が2となっていますが、これはコロナの関係で2ということになっているんだろうと思いますが、その他の移動図書館車の活用でカバーされたりして、コロナであるがゆえにできている活動を十分されていると思いました。学識経験者の意見の中に、コロナだからこそできるということもあって、電子書籍への取組を行ってはどうかと思いました。と書いていますが、電子書籍の件については難しい面があると聞いておりますが、できる限りのことをされていると思

ました。歴史民俗資料館の収蔵庫はけっこうな人数入館されているという通知が出ております。入館されている人は自分自身が興味をもって、もっと勉強したいと思っている人が多いのではないかと思います。そういう人たちの意見、感想などをホームページなどでお知らせしていくとその辺が広がっていくと思いました。

橋本課長 外国語活動の支援員やALTについて、高い評価をいただきありがとうございました。東温市は全ての外国語活動の時間に、フルタイムで支援員を付けている状況で、これは良い取組であると自負しております。GIGA スクールに関しては、得手不得手の先生もいるところですが、一方で一人一台端末を使わない授業はあり得ない時代になってきております。その中で、不得手な先生のためにあまり負担にならないような研修会であるとか、ICT の支援員を活用した取組、授業づくりのサポートをしていきたいと思っております。緑の少年隊事業については、県内ではこのような活動は小規模の学校、中山間地域の学校の取組が多い中で、だんだん子どもが少なくなり一時的に活動をやめている学校もあると聞いております。その中で、東温市では上林と西谷の活動も歴史が長く、まさに伝統的な事業になっていると思っておりますので、継続していきたいと思っております。

河端課長 読書活動の推進と図書館利用の促進について、表にありますが、令和元年度がコロナ前の数字で、2年度、3年度の数字がコロナ禍以降の数字となっております。この数字を見ていただくと、本館、分館に実際に来ていただく方については、2年度3年度それぞれ臨時休館があった影響もあり会館日数自体がコロナ前よりは減ったという要因はあったのですが、減少レベルの幅が移動図書館車の方が少ないということは、コロナ禍においても移動図書館車をご利用いただいた方が多いのではないかと分析しております。今年度は臨時休館の措置を取っておりませんので徐々に戻りつつあるのですが、ウィズコロナでの図書館利用における取組については、今後も継続して取り組んでいきたいと考えております。その中で移動図書館車の電子書籍導入については、コンテンツは限られている、費用は普通の書籍より高い、などの色々な事情もあり現在は検討中という回答になるのですが、県内の動向を見ますと、電子書籍を導入している図書館は増える傾向にありますので、より現実的に考えていかなければならない段階かと考えております。歴史民俗資料館の収蔵庫入館者数については、コロナ前の令和元年度の数字がないのですが、一定程度のリピーターの方はいらっしゃると思っております。現在ご意見箱を設

置し、そこで意見等把握しておりますが、ホームページに掲載するかどうかについてはご本人への了解等もありますので、今後考えていきたいと思えます。

水岡委員 保育士さんの収入を引き上げたということだととてもいいことだと感じました。今後は収入を引き上げるだけではなく人員も増やしてあげたらと感じました。いじめについて、令和3年度の認知件数が40件と減っています。これは、アンケートの実施や先生の努力で、いじめはいけないよ。という指導が子どもに浸透した成果だと思いますので、とてもいいことだと思いました。また、ハートなんでも相談員の相談数が令和2年度より令和3年度が多いということで、悩んでいる子どもさん、親御さんもたくさんおられるのにびっくりしました。一人ひとり違う相談を対応するハートなんでも相談員さん、スクールソーシャルワーカーさん、みんな大変だと思いますので、頑張ってお対応していただきたいと感じました。

近藤課長 保育士等処遇改善臨時特例事業という国の補助金で3%程度、月額9,000円程度賃金を引き上げるということで、民間の小規模事業所の補助、公立の時給の保育士の賃金アップをさせていただいております。良かったという感想を持っていただいております。加えて、休憩時間もままならないという働き方が現実問題としてあり、改善として、業務を見直し、お昼の時間だけ来ていただくパートの募集を開始し、今年になって3名入れることができました。ある程度休む時間を確保するという形で、徐々にではありますが改善していくものと思っております。

橋本課長 いじめに関して、数字が下がっていることは各学校の先生方の努力によるものと思われまます。ただ、不登校が増えていることとの関係は確認する必要があると思っております。スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員等に関しては、個々それぞれの悩みに寄り添うことですべてが解決するわけではないですが、何かを話すことによって、少しでも心の悩みを解消できるような体制は引き続き取っていきたくと思えます。

八木教育長 いじめについての認識を確認させていただいたらと思えます。まず基本の第一、いじめはなくせないです。なぜかと言うと、いじめられたと思ったらいじめであるというのが定義なので、例えば具体的な項目があるのならば、その項目が起らないようにすればいじめ0になりましたと言えまます、いじめは本人の内心に関わることなので、いじめを0にすることはできません。多くの方々はいじめの認知件数が減って良く

なったよね。という印象ですが、国立教育政策研究所が行っている定点観察によると、いじめの数は増えたり減ったりしないというのがあります。しかもいじめたりいじめられたりということを小学校4年生から中学校3年生の間に9割の子どもが経験する。ということが分かっています。いじめの認知件数は、毎年同じ数あるはずなのに減るということは見つけられていないのではないかと認識するのが共通認識です。ですから、この表だけ見ると、ものすごくまずい状況です。不登校が平成29年度から令和3年度にかけて2倍になっている。いじめの認知件数が半分になっている。ということは、いじめが認知できなくなっているから不登校が増えたのではないかという仮説が成り立ちます。そういう認識であたらなとなかなか減らないというのがあります。不登校について、東温市は人的支援をすごくしていただいております。支援員、相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、適応指導教室、そのおかげで多くの子どもたちが復帰しているのですが、それでも不登校の数は増えている。どういうことかと言うと、新しく不登校になる子がいる。その新しく不登校になる子に対応しましょうというのが魅力ある学校づくり事業で、それを今全教職員に取り組んでいただいているところです。いじめ、不登校の数値は動かしようのないものですが、それを受け入れて対応することがいいと思っていますので、了承いただいたらと思います。

本田委員 コロナ禍の厳しい年度でこれだけの事業を実施していただいている担当者の方には本当に感謝申し上げたいと思います。実質内容としては恥ずかしくない立派な実績ではなかったかと感じております。細かいところですが、低くなった項目が4項目あります。図書館のサービスの向上についてはコロナの影響でできなかった部分があるので下がったというのは分かるのですが、子育て環境の充実のところ、自己評価を読ませていただくと、全て良い状態のことが書かれています。なぜマイナスになったのか、低くなった理由がどこかに見えるといいと感じました。2つ目、児童クラブの支援員数、学識経験者の方からもまだ少ないというご指摘いただいております。学校生活支援員数もそのようなご指摘いただいておりますが、常時支援員の方が勤務しているのではないと言われたから単純計算では出ないのかもしれませんが、決して少ない数ではないと思います。学校生活支援員の数字を見ても、他の市町村を考えるとかなり多い人数であると思います。そのあたりを市民の方、評価いただく方に知っていただくような作業というのも必要ではないかと感じました。今年度とい

う言葉が出てくるのですが、混乱しているところが見受けられます。令和3年度のことを言っているのか令和4年度のことを言っているのか見直しておく必要があると思いました。教職員の資質、能力の向上ですが、ここの内容についてもう一度検討がいると感じております。給食だよりについて、年11回発行ということで8月お休みだから発行していないと思いましたが、夏休みは食育の実践に一番適した長期の休みではないかと思えます。8月号としてそういう面に関われる内容のものを出したらまた効果があるのではないかと思いました。

近藤課長 放課後児童クラブの関係について、令和2年度は北吉井地区の人口増加に伴いはなみずき組を新設したということで、そこはスムーズに達成できたということでの自己評価でした。令和3年度はそれを安定的に運営していくことができたということで、通常の3に戻しました。放課後児童クラブの支援員の数について、国の基準等では40人クラスを一定規模にして支援員は2名となっています。本市は入れ替わりをしながら2人役で毎日運営しているかたちですが、児童クラブでも支援のいるお子さんも入っていて、実際には2名では回せていないところもあったりして、一つ一つのクラブによって状況や人数も全然違いますので、適正人数の説明は必要かと思っております。

橋本課長 今年度という表現のばらつきについて、誤解を生まないような表現は検討していきたいと思えます。学校生活支援員について、東温市教育委員会は38名を配置しております。この数字は胸をはれる数字ではないかと思っております。県下でもおそらく最高レベルの数字ではないかと思っております。その中で、学識経験者、外部評価員がさらにという思いをもっておられるのであれば、それを知っていただく努力はすべき内容だと思えます。

八木教育長 もう一度確認いただいたらと思えます。不登校について、数が増えています。令和2年度までは国の平均より県の平均が下で、さらに東温市は下です。令和3年度はどうだったかというのは秋頃国が発表しますので、その結果を見ないと分からないというのがあります。いじめの認知件数については、一定数あると申しましたが、令和2年度と令和3年度はコロナの関係で学校や学級を閉めた時期もあり、子どもたちの人間関係を閉じた期間がけっこうありましたので、全国的に令和2年度と3年度は少なくなっているというのがありますので、この令和2年度、3年度については、その影響がどの程度あるかというのとは分からない状況です。分からないけれども少なからず人流が止まったので、影響は出

ているとは考えております。だからと言って軽く考えるべきではないというのも事実で、対応は真摯にしていかなければならないと思っております。

橋本課長 重点施策の教職員の資質能力の向上について、校務支援システム等の活用を事業として取り上げておりますが、教職員の資質能力の向上と校務支援システムの活用がイコールではないと感じておるところです。これについては令和5年度の重点目標を2月頃にご協議頂く予定ですが、そこで改めて協議させていただきたいと思えます。

八木教育長 他ございませんか。そうしましたらこの点検評価について、ご承認いただけますでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える)

6 その他

(1) 教育委員会共催・後援事業について(令和4年7月承諾分)

橋本課長 (資料に基づき、教育委員会共催・後援事業について令和4年7月承諾分を説明する。)

(2) その他の報告事項について

①「令和4年度全国学力・学習状況調査」東温市の調査結果について

東山主事 (資料に基づき、令和4年度全国学力・学習状況調査東温市の調査結果について説明する。)

本田委員 全体を見て、本当に東温市の子どもたちは頑張っていると思いました。課題として挙げられる点はどの子にも共通するようなことだと思えますので、順調に育っているのではないかと感じました。一番うれしかったのは、自分には良いところがあるというのがかなり高くなっている点です。子どもたちの認識が変わってきたということはありがたいと思いました。ただ、理科の授業はよく分かるか、という部分については、教師がしっかりと反省をしていかないといけないのかなと思います。学習については、勉強時間が長いからいいとは思いません。効率よく勉強ができて学習成果も上がっているのであれば問題ないと思えますし、既存の学習だけに時間を割いて、友達との関わりといった全人格的な成長ができないような子もいますので、バランスが取ればいいのかと思います。タブレットについて、課題としては、時間を増やしていくという方向でいい気はしますが、必要もないのに時間数をあげるために使うというの

ではなく、やはり目的があって必要があってタブレットを使うということで進めていただけたらと思います。

水岡委員 勉強の面では平均をほとんど上回っているのですごく誇らしいと思いました。生活の面では朝食はしっかり食べて学校に行きたいと感じました。

清家委員 東温の子どもたちはよく頑張っていると思いました。学校訪問で授業風景を見たことがそのまま表れていると思います。先生方は課題をあげて、授業も改善されながらやられているということを実感しました。今回も課題がいくつかあるようですが、今年度また授業に生かしてもらえらと思います。理科は、結果が小学校も中学校もいいのですが、子どもの感じ方が小学校では十分ではない。不思議な結果が出ていると思いました。全体的に素晴らしい取組をされて、結果も上々で頼もしいと思いました。

大西委員 小学校の子どもは理科の成績は悪くないんです。だから、もしかしたら、質問の仕方によって、質問に対する答えでこういう結果が出たのかも分からないと思いました。全国でも同じ結果が出ているかもしれないと思いました。もう1点、パソコン、タブレットの使用状況について、持ち帰りを許可することによって利用状況も増えるし、だんだん馴染んでくるのではないかと思います。

八木教育長 小学生理科について、分析は必要かと思います。

大西委員 小学校も中学校も一緒ですが、困りごとがあるときに先生や学校、大人にいつでも相談できますか。という質問で、どちらかといえばできていないという答えの合計が、小学生で27.7%、中学生になると31.2%に増えています。全国よりははるかにいいのですが、ワークショップなどで自分の意見を思うように言えるような習慣をつけてあげたらこの数字も変わってくるのではないかと思います。もう一つは、自尊心が今の子はだんだん高くなっているのに、逆に相談しないことになっているのかもしれないと思います。それによっては不登校が解決できることももしかしたらあるのかなと思いました。

(3) 10月定例会の日程について

10月定例教育委員会

日時 令和4年10月25日(火) 9時00分から

場所 405会議室

(4) 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

橋本課長 (資料に基づき、令和4年度要保護準要保護児童生徒の認定について説明する。)

(5) 令和4年7月末現在のいじめ・不登校の状況について

橋本課長 月3分の1以上欠席者における小学校の不登校人数は8名、病気人数は0名、その他人数は0名、小学校の月3分の1以上の欠席者人数は計8名です。中学校の不登校人数は41名、病気人数は7名、その他人数は0名、中学校の月3分の1以上の欠席者人数は計48名です。小中学校の合計の月3分の1以上の欠席者は56名です。

30日以上の不登校は、小学校8名、中学校33名、小中学校の合計は41名です。

非行について該当はありません。

いじめについて、認知件数は小学校2件、中学校1件、合計3件です。認知のきっかけはアンケートにより発見1件、保護者からの訴え2件です。いじめの解消状況について、解消が小学校1件、中学校7件、継続は小学校0件、中学校0件。継続的見守りが小学校16件、中学校12件で、合計36件です。

令和4年度コミュニティ・スクール推進フォーラムについて

八木教育長 (資料に基づき、令和4年度コミュニティ・スクール推進フォーラムについて説明する。)

八木教育長 他に連絡事項等ございませんか。それでは本日審議していただく内容は全て終わりましたので進行を事務局にお返しします。

渡部補佐 (閉会を宣す。)

(午前11時00分閉会)